

2025年度公募情報(競争的研究資金等)【応募単位:研究者単位】

1900年1月0日

No.180	次世代航空機向け静脈産業構築事業	
機関名	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構	
募集締切 (公募機関)	2026年2月16日(月)	正午
本部研推締切日	研究推進部 事前連絡締切日	2026年2月2日(月)
	原議書提出締切日	2026年2月9日(月)
応募方法	<p>電子申請システム「Jグランツ」上で応募申請してください。</p> <p>※本公募は事務局において事前了解の手続きを行いますが、「Jグランツ」への応募情報の入力は各申請者が行ってください</p> <p>※「Jグランツ」登録の際、GビズID取得については、「個人事業主」として、研究代表者ご本人にて登録願います。登録に関する詳細については、下記資料を参照ください。</p> <p><GビズIDクイックマニュアルGビズIDプライム編（個人事業主）> https://gbiz-id.go.jp/top/manual/pdf/QuickManual_Prime_sole-proprietor.pdf</p> <p><GビズID申請URL> https://gbiz-id.go.jp/top/apply/create_prime.html</p> <p><NEDO事業の公募におけるJグランツでの応募受付について> https://www.nedo.go.jp/koubo/ZZAN_100061.html</p>	
所属研究機関の承認(e-Rad)	不要	
研究推進部事前了解 (原議書の回付)	必要	
概要	<p>航空業界では、2050年カーボンニュートラル達成に向けた各種取組が加速しています。炭素繊維強化プラスチック(CFRP: Carbon Fiber Reinforced Plastics)は、航空機の構造部材や内装部材等に広く使用されており、軽量化による燃費改善とCO2排出量の削減に寄与することから、環境適応型の次世代航空機の実現に不可欠な材料です。また近年では、リサイクル炭素繊維(CF)はバージンCFと比較すると基材製造段階のCO2排出量を大幅に低減し得ることが示され、CFのリサイクル技術開発が国内外で進展しています。本事業では、下記4項目の実施により、次世代航空機における脱炭素化と資源循環型経済の拡充の両立を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 退役航空機からのCFRP廃材の解体・切断から航空機への適用に至るリサイクルサプライチェーンの成立条件と課題を明確化し、事業の採算性を最適化したサプライチェーン基盤を構築します。 2) CFRP廃材の切断について、大出力レーザー等の高パワー技術を用いた切断設備を構築し、CF回収に適合した高効率な切断技術を開発します。 3) 環境負荷に配慮したCF回収技術および基材化プロセスを開発し、プロトタイプ設備を構築します。 4) 航空機の二次構造部品や内装部品への適用に向け、基材特性および基材化プロセスにかかる認証取得の要件を確定します。併せて、二次構造部品や内装部品の設計技術および製造プロセスを開発し、テスト機による飛行試験で実証を行います。 	

※ 貴部局にて申請がある場合は、事前連絡締切日までに所定の《事前連絡様式》にて、研究代表者名・研究分担者名等の連絡をお願い致します。

※応募に関するお問い合わせは各部局の担当者までお願いします。